

平成 31 年 4 月 22 日

日本環境共生学会主催 ユースワークショップについて 案

◆日時・場所・テーマ

・開催日時：令和元年 5 月 26 日（日）9:00-12:10

・開催場所：長崎大学文教キャンパス 部屋 環境科学部棟（教養教育棟） A-12（確定）

・ワークショップテーマ：

「大村湾の将来像を考えよう！（仮題）」

・参加予定高校：海星高校、他、10～20 名程度予定

◆趣旨

県内の高校生（大村湾沿岸に位置する高校を含む）を対象とし、賑わいのある大村湾の将来の望ましい姿を考えます。賑わいのある大村湾にするためには、どのような目標を達成すればよいのか？目標達成のためには、どのような行動をとればよいのか？議論を通じて考えます。

ワークショップでは、大村湾の現状に詳しく、様々な活動を行っている海だよりの中村拓朗氏をお呼びして、ユース・高校生にしかできない斬新な発想をいただき、大村湾の将来像に結び付けていきます。

今回のワークショップで挙げられた目標や指標については、長崎県が策定している「大村湾環境保全・活性化行動計画」の次期計画案に反映させられるよう、長崎県地域環境課に働きかけていきます。

参加する高校生の皆様へは、事前にワークショップの趣旨説明および大村湾に関する情報を共有するため、2 時間程度の説明会を行っております。

◆5月26日（日）の全体スケジュール

<大村湾の現状についての説明・振り返り>

・9：00～9：05：開会挨拶

・9：05～9：15：趣旨説明および県計画について 太田貴大（長崎大学環境科学部）
もしくは長崎県地域環境課担当者

・9：15～9：30：大村湾の現状について 中村拓朗（ダイビングサービス海だより）

<大村湾の将来像を考えるワークショップ>：9：30～12：10

コーディネーター：中村拓朗（ダイビングサービス海だより）

・9：30～10：45：各班に分かれて議論

・10：45～11：00：休憩

・11：00～12：00：各班の発表とまとめ

・12：00～12：10：環境共生学会会長（中根先生）の閉会挨拶（講評）

・ワークの内容

大村湾沿岸の社会をいくつかのパートに分けて、各班がそれぞれの将来像を考える

パート：漁業、観光、教育、交通等を想定

各パートについて、事前に複数のサブパートを設けて、そこに対して、ポストイット等で将来こうなってほしい姿を書いていく

さらに、現時点で想像できる、達成指標を考えていく

サブパートの例：観光（マリンスポーツ、美しい景観、島び利用、IR、外国人向けなど）

担当；

日本環境共生学会 地域シンポジウム実行委員会 委員長

長崎大学 環境科学部 准教授 太田貴大

電話 095-819-2731

メール takahiro@nagasaki-u.ac.jp